

2025 年 10 月 16 日

リコーリース株式会社

〈コード番号：8566 東証プライム市場〉

ひとり親家庭居住支援第 1 号ファンドの立ち上げについて

リコーリース株式会社（以下、当社）は、みずほ信託銀行株式会社（取締役社長：笹田 賢一）をはじめとした複数の企業・団体（※1）と連携し、ひとり親家庭の居住支援および自立支援を目的とした「ひとり親家庭居住支援第 1 号ファンド」（以下「本ファンド」）を立ち上げましたので、お知らせいたします。

1. 本取り組みの概要

本ファンドは、不動産私募ファンドの仕組みを活用し、ひとり親家庭への住居提供とキャリア支援を行う取り組みです。社会的インパクト（※2）の創出を目指し、定量的な評価モデルを導入します。

2. 背景

現在、日本には約 134 万世帯のひとり親家庭（母子・父子世帯含む）が存在しています。中でも母子世帯の平均年収は 272 万円と低く、父子世帯の 518 万円と比べて大きな差があり、生活の基盤に課題を抱えています（※3）。児童扶養手当は年収 190 万円以下で全額支給されますが、200～400 万円の世帯は一部支給または対象外となり、生活の厳しさは依然として続いています。この層は母子世帯の約 4 割、父子世帯の約 3 割に該当し、公的支援に加えた民間の支援が求められています。

3. 支援内容について

本ファンドでは、親子の未来を支えるため、ハード面（住みやすい住居環境の支援）とソフト面（キャリア支援などの自立支援「ステップアップサポート」）の両面での支援を行い、安心して生活できる環境づくりを目指します。経済的・社会的な自立を促進することで、将来不安の解消と社会的インパクトの創出を図ります。

ソフト面での支援は、ひとり親家庭支援の実績が豊富なシングルズキッズ株式会社（代表取締役：山中 真奈）と一般社団法人日本シングルマザー支援協会（代表理事：江成 道子）が共同で提供します。両団体は「マインドアップ＋スキルアップ」をコンセプトに、伴走型支援プログラムを展開します。

4. 社会的インパクトの定量評価

本ファンドの社会的インパクト評価は、国土交通省の「社会的インパクト不動産の実践ガイドダンス」に基づき、みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社（代表取締役社長：吉原 昌利）が策定したフレームワークを活用し、運用期間中に定量的なモニタリングを実施する予定です。

5. まとめ

当社は、本ファンドの取り組みを通じた、ひとり親家庭への支援拡大による社会へのポジティブな影響の創出により、当社のマテリアリティの一つである「豊かな暮らしをつくる」の実現に貢献してまいります。

※1 ファンドの概要および関係企業・団体

名称	ひとり親家庭居住支援第1号ファンド
運用期間	2025年10月1日より5年間（予定）
総資産規模	約35億円
アセットマネージャー	みずほ不動産投資顧問株式会社
レンダー	株式会社みずほ銀行
ステップアップ支援法人	シングلزキッズ株式会社 一般社団法人日本シングルマザー支援協会
物件抛出者	株式会社長谷エライブネット MIRARTH ホールディングス株式会社
出資企業	首都高速道路サービス株式会社 学校法人二松学舎 平成ビルディング株式会社 みずほ信託銀行株式会社 三菱HCキャピタルリアルティ株式会社 村本建設株式会社 リコーリース株式会社

※2 社会的インパクト：企業や団体の事業・活動によって生じた社会的・環境的な成果のこと。短期・長期のポジティブな変化を含み、活動が社会問題の解決にどれだけ貢献したかを示します。

※3 出所：厚生労働省「令和3年度全国ひとり親世帯等調査結果報告」

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

リコーリース株式会社 経営企画部 TEL:050-1702-4203(直通) Email:ir@r-lease.co.jp